

中小企業組合運営指導事業 研修会

協会会員が講師を務めました



さる平成27年3月12日(木)、マイドームおおさか8階 第1・2会議室にて大阪府中小企業団体中央会が実施する大阪府委託事業「中小企業組合運営指導事業」の研修会が実施され、「組合事例発表」として大阪府中小企業組合士協会会員の2名が講師を務めました。

1人目は当協会の副会長で近畿ダクト工事業協同組合理事の進木健三氏が講師を務めました。

まず中小企業組合士制度と試験制度について説明した後、同氏が理事を務める近畿ダクト工事業協同組合について説明されました。

当組合はダクト工事業者の団体であり、今年度は業界全体の問題である人手不足の課題解決のために、「建設労働者確保育成事業」を活用して若年労働者の確保のため、工業高校への出前授業やダクト製作の説明のためのDVD作成を実施し、情報発信を積極的に実施しています。また、若者の業界への就職を促すため、高校への組合機関紙送付を継続するとともに、組合員会社の従業員の出身高校に対して同校の卒業予定者への呼びかけ等を行っているとのことでした。



進木副会長



向出理事

次に当協会の理事で大阪府板金工業組合 事務局長の向出伸弘氏が講師を務めました。当組合は板金工事業、いわゆる「建築板金」を営む業者の団体です。建築板金は主に①町のブリキ屋さん、②工場・ビル・マンションその他大規模建物の屋根工事・外壁工事の仕事、③ダクト風導管工事の3つの仕事があり、京セラドーム大阪や関西空港ターミナル施設など有名な大型建築物の屋根等は建築板金の職人によって作られています。建築板金業界でも人手不足は深刻であり、特に当組合が運営する「大阪府板金高等職業訓練校」では若年労働者を業界へ呼び込むための宣伝活動を活発に行っています。

訓練校ホームページの更新やPRビデオを作成してユーチューブに掲載し、積極的な情報発信を行っています。

<掲載URL> <https://www.youtube.com/watch?v=BrsNoSwtjEg>

講義の中では今年度、それぞれの組合で作成されたDVDも放映され、受講者からは非常にわかりやすい説明であったと好評でした。